

HSBC ロシア オープン

運用報告書（全体版）

第16期（決算日 2023年3月15日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	HSBC ロシア マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にロシア連邦（「ロシア」）の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要運用対象	HSBC ロシア オープン	HSBC ロシア マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC ロシア マザーファンド	主に、ロシア国内の企業、ロシア経済の発展と成長に関連する、ロシア以外の国の企業が発行する株式等（ADR、GDR等を含みます。）に投資します。
組入制限	HSBC ロシア オープン	株式への実質投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	HSBC ロシア マザーファンド	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。
分配方針	年1回の決算時（毎年3月15日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ロシア オープン」は、2023年3月15日に第16期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

〈お問い合わせ先（投信営業本部）〉

電話番号：03-3548-5690

（営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp



○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIロシア10/40指数 (円ベース)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金 配分	期中 騰落	(ベンチマーク)	期中 騰落			
	円	円	%		%	%	%	百万円
12期(2019年3月15日)	7,333	0	△0.6	9,401	5.0	98.4	—	5,834
13期(2020年3月16日)	6,038	0	△17.7	7,793	△17.1	96.3	—	3,958
14期(2021年3月15日)	9,819	0	62.6	12,478	60.1	98.9	—	5,728
15期(2022年3月15日)	1,051	0	△89.3	0	△100.0	20.3	—	466
16期(2023年3月15日)	873	0	△16.9	—	—	8.8	—	387

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております。以下同じ。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCIロシア10/40指数 (円ベース)		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率		(ベンチマーク)	騰落率		
	円	%		%	%	%
(期首) 2022年3月15日	1,051	—	0	—	20.3	—
3月末	1,107	5.3	0	36.2	24.2	—
4月末	1,098	4.5	0	59.5	24.0	—
5月末	1,085	3.2	—	—	23.3	—
6月末	1,079	2.7	—	—	23.1	—
7月末	969	△7.8	—	—	14.7	—
8月末	974	△7.3	—	—	15.3	—
9月末	971	△7.6	—	—	15.2	—
10月末	981	△6.7	—	—	16.3	—
11月末	966	△8.1	—	—	16.8	—
12月末	886	△15.7	—	—	9.5	—
2023年1月末	879	△16.4	—	—	9.0	—
2月末	879	△16.4	—	—	9.3	—
(期末) 2023年3月15日	873	△16.9	—	—	8.8	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

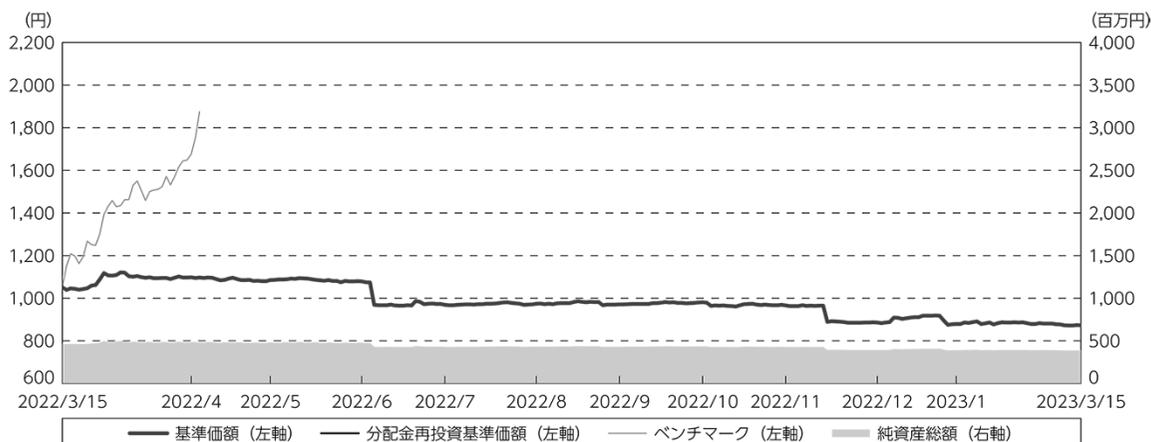
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

*2022年5月31日までのベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、『MSCIロシア10/40指数（円ベース）』です。MSCIロシア10/40指数とは、ロシアの証券取引所に上場する企業を対象とした一般的な指数であるMSCIロシア指数に対し、投資信託に合わせた調整（一銘柄の構成比率の上限を10%にする、かつ5%を超える銘柄グループの合計の上限を40%にする等）を加えた浮動株調整後時価総額加重平均を算出した指数をいいます。なお、当該指数は、MSCI社（MSCI Inc.）が開発、計算する指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託会社が円換算した数値を使用していました。2022年3月9日から、MSCI社により大幅な評価額の調整が行われた結果、ほぼ0評価となり、また同年5月6日から公表が停止されました。当ファンドは、6月1日付けでベンチマーク削除の約款変更を行いました。

○当期の運用状況と今後の運用方針

基準価額等の推移について（第16期：2022年3月16日～2023年3月15日）



期首：1,051円

期末：873円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 16.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2022年3月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドは、2022年6月1日付けでベンチマーク削除の約款変更を行いました。過去のベンチマークは、MSC I ロシア10/40指数（円ベース）です。

基準価額の主な変動要因

現在、ロシア株式は、同国によるウクライナ侵攻の影響を受けて、総じて取引停止の状態にあります。このような環境下、当社では、下記「ロシア株式の時価評価方法の変更について」に記載の通り、基準価額の評価方法を変更しており、この影響により当ファンドの基準価額は大幅に下落しました。

～ロシア株式の時価評価方法の変更について～

2022年2月28日以降、ロシア株式は軒並み取引停止の状態となりました。こうしたなか、当社では、投資信託協会の規則に従い、可能な限り直近の日の組入銘柄の最終価格を評価額として基準価額の算出を行ってきました。しかし、評価額はほとんどが更新されず、基準価額は実勢を反映しているとは言い難い状況になりました。このような状況が一定期間経過した場合は、運用会社が合理的と判断する評価額を使用可能としている同規則に鑑み、当社では3月14日から、直近の基準価額算出において使用した評価値が、2月28日の基準価額算出において使用した評価値の10%未満となっているものについては、その評価値を使用し、それ以外のものについては、一律2月28日の基準価額算出において使用した評価値の10%として値付けを行いました。また、3月15日より、継続して取引され実勢を反映していると思われる評価値がある一部の銘柄については、その評

価値を採用し、それ以外は評価値を一律ゼロとしました。さらに7月5日から、米国、英国、国連、OFACなどによって制裁対象となったロシア企業の預託証券、ロシアの決定により外国証券取引所からの上場が廃止された預託証券につきまして、評価値をゼロとしました。また、ウクライナ侵攻前に売却した銘柄のうち未収入金となっていたものは11月2日に売買損として計上しました。加えて12月14日から、保有しているロシア企業の預託証券の中で新たに米国、英国、国連、OFACなどによって制裁対象となった銘柄の評価値をゼロとしました。(すべて外貨ベース。基準価額算出における為替レートに関しては通常通り算出日のレートを用いました。)

投資環境について

【株式市場】

当期のロシア株式市場は前期末比で2.2%上昇しました。しかしながら2022年2月下旬以降、非居住者による取引については依然困難な状況が継続しました。

【為替相場】

当期のロシアルーブルは対円で前期末比68.0%上昇しました。なお、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け、非居住者による為替取引に関しては引き続き著しく制限されていることから、ロシアルーブルの対円相場は実勢を反映しているとは言い難い状況となりました。

原則として、指数の騰落率は期首・期末の前営業日の数値を、為替レートの騰落率は期首・期末の数値をもとに算出しています。

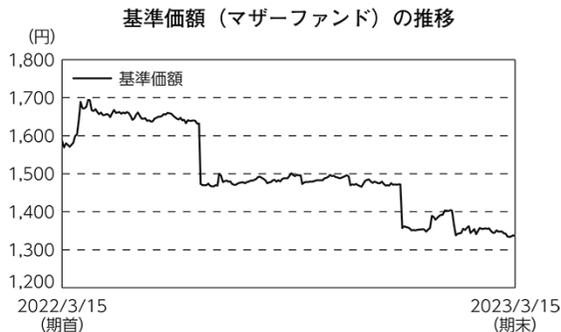
ポートフォリオについて

<HSBC ロシア オープン>

「HSBC ロシア マザーファンド」への投資を通じて、主にロシアの株式などに投資しました。

<HSBC ロシア マザーファンド>

ロシア株式は市場での取引が困難となり、保有株式の売買は行われておりません。



ベンチマークとの差異について

当ファンドは、2022年6月1日付の約款変更でベンチマークを削除したため、期末時点でのベンチマークはありません。

分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向などを勘案し、分配なしとさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第16期
	2022年3月16日～ 2023年3月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,115

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

今後のロシアの株式市場については、現段階では見通しを予測することが困難な状況です。当面ロシア市場は混乱状態が継続するものと予想されます。

<HSBC ロシア オープン>

引き続き「HSBC ロシア マザーファンド」への投資を行います。

<HSBC ロシア マザーファンド>

今後、市場の再開などを受けて、適正な価格での売買が可能となり、かつ取引後の資金決済等が滞りなく行われることなどが担保される状態に戻った場合は運用が再開される可能性はありますが、現時点においてその見通しは立っておりません。当面ロシア市場は混乱状態が継続するものと予想されるなか、当社は今後も動向を注視し、当ファンドへの影響についてモニタリングを続けてまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 3 月16日～2023年 3 月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 9	% 0.880	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(－)	(－)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
(販 売 会 社)	(8)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	17	1.708	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(16)	(1.629)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.033)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(1)	(0.046)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付およ び届出にかかる費用等
合 計	26	2.588	
期中の平均基準価額は、989円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

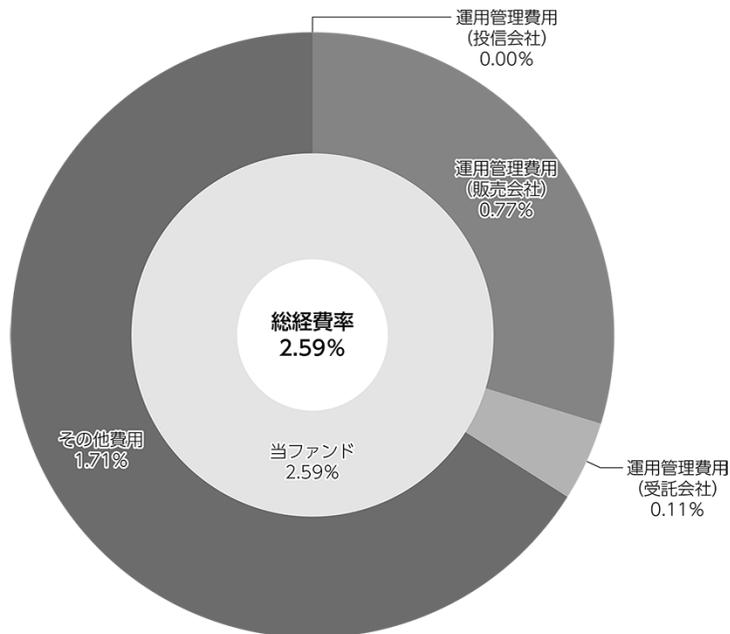
(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.59%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年3月16日～2023年3月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
HSBC ロシア マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 354,617	千円 56,053

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2022年3月16日～2023年3月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	HSBC ロシア マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	-千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	75,386千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	-

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月16日～2023年3月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年3月15日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
HSBC ロシア マザーファンド	千口 3,267,451	千口 2,912,833	千円 389,154

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
HSBC ロシア マザーファンド	389,154	100.0
投資信託財産総額	389,154	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) HSBC ロシア マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(34,155千円)の投資信託財産総額(389,177千円)に対する比率は8.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1英ポンド=163.67円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年3月15日現在)

○損益の状況 (2022年3月16日～2023年3月15日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	389,154,583
HSBC ロシア マザーファンド(評価額)	389,154,583
(B) 負債	1,953,307
未払信託報酬	1,799,955
その他未払費用	153,352
(C) 純資産総額(A-B)	387,201,276
元本	4,435,000,064
次期繰越損益金	△4,047,798,788
(D) 受益権総口数	4,435,000,064口
1万口当たり基準価額(C/D)	873円

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 73,336,216
売買益	1
売買損	△ 73,336,217
(B) 信託報酬等	△ 5,680,678
(C) 当期損益金(A+B)	△ 79,016,894
(D) 前期繰越損益金	△2,780,387,550
(E) 追加信託差損益金	△1,188,394,344
(配当等相当額)	(567,488,708)
(売買損益相当額)	(△1,755,883,052)
(F) 計(C+D+E)	△4,047,798,788
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△4,047,798,788
追加信託差損益金	△1,188,394,344
(配当等相当額)	(567,488,708)
(売買損益相当額)	(△1,755,883,052)
分配準備積立金	1,257,716,024
繰越損益金	△4,117,120,468

(注) 当ファンドの期首元本額は4,435,000,064円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円です。

(注) また、1口当たり純資産額は0.0873円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(567,488,708円)および分配準備積立金(1,257,716,024円)より分配対象収益は1,825,204,732円(10,000口当たり4,115円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 親投資信託の投資信託財産の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、委託者報酬の中から支弁した額は、535,006円です。

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

- ◇分配金をお支払いする場合：原則として決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始いたします。
- ◇分配金を再投資する場合：決算日現在の基準価額に基づいて、税金を差し引いた後、皆さまの口座に繰り入れて再投資いたします。
- ◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- 普通分配金 … 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。
- 元本払戻金 … 分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの部分（特別分配金）は普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○お知らせ

約款変更について

2022年6月1日付：

ベンチマークを削除する変更を行いました。

2022年6月14日付：

実質的に運用管理費用（信託報酬）を引き下げる約款変更（委託者が受け取る運用管理費用（外部委託報酬を含む）を上限記載に変更）を行いました。

ロシア株式等（ロシア企業が発行する株式（ADR（米国預託証券）、GDR（グローバル預託証券）等を含みます）、以下同じ）の評価について

<財務諸表に計上した金額の算出方法及び財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定>

2022年2月24日（現地時間）以降、ロシアのウクライナ侵攻を受けた米欧の経済制裁やロシアによる対抗措置により、2022年2月28日（現地時間）にロシアの証券取引所は株式取引を停止し、米国市場等の海外市場においてもロシア株式等の流動性が極めて低く、取引することが困難な状態が続いております。また、取引の規制、決済機構やSWIFTからの除外による取引後の受渡が行えない状況となり、ロシア株式等の取引が困難な状態が継続しており、活発な市場における相場価格の取得ができない状況が続いております。よって、親投資信託が保有しているロシア株式等について、ゼロ円で評価しております。

<翌計算期間の財務諸表に与える影響>

当計算期間において、ロシア株式等を上記のように評価しております。しかしながら、ロシアの証券取引所の再開やロシア株式等の取引の再開等、今後の動向の変化によって翌計算期間の財務諸表に影響を与える可能性があります。

申込受付の停止について

2022年2月24日に発生したロシアのウクライナ侵攻の影響を受けて市場は閉鎖され、取引ができない状態となっております。そのため、3月1日より設定・解約の申込みの受付を停止しております。定時定額による購入（積立）についても3月9日以降受付を停止しております。今後、取引の再開等の状況の変化があれば、設定・解約の申し込み受付を再開する可能性があります。

**◆親投資信託「HSBC ロシア マザーファンド」の運用状況
第16期（2022年3月16日～2023年3月15日）**

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主にロシアの株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主に、ロシア国内の企業、ロシア経済の発展と成長に関連する、ロシア以外の国の企業が発行する株式等（ADR、GDR等を含みます。）に投資します。
組入制限	株式への投資には制限を設けません。また、外貨建資産への投資には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCIロシア10/40指数 (円ベース) (ベンチマーク)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
12期(2019年3月15日)	9,584	1.6	9,401	5.0	97.3	—	5,897
13期(2020年3月16日)	8,097	△15.5	7,793	△17.1	94.8	—	4,023
14期(2021年3月15日)	13,411	65.6	12,478	60.1	98.0	—	5,782
15期(2022年3月15日)	1,587	△88.2	0	△100.0	18.2	—	518
16期(2023年3月15日)	1,336	△15.8	—	—	8.8	—	389

(注) ベンチマークは設定日を10,000として指数化しております。以下同じ。

(注) 「株先物比率」は買建比率－売建比率。

*2022年5月31日までのベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、『MSCIロシア10/40指数（円ベース）』です。MSCIロシア10/40指数とは、ロシアの証券取引所に上場する企業を対象とした一般的な指数であるMSCIロシア指数に対し、投資信託に合わせた調整（一銘柄の構成比率の上限を10%にする、かつ5%を超える銘柄グループの合計の上限を40%にする等）を加えた浮動株調整後時価総額加重平均を算出した指数をいいます。なお、当該指数は、MSCI社（MSCI Inc.）が開発、計算する指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託会社が円換算した数値を使用していました。2022年3月9日から、MSCI社により大幅な評価額の調整が行われた結果、ほぼ0評価となり、また同年5月6日から公表が停止されました。当ファンドは、6月1日付けでベンチマーク削除の約款変更を行いました。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		M S C I ロ シ ア 1 0 / 4 0 指 数 (円 ベ ー ス) (ベンチマーク)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2022年 3 月15日	円 1,587	% —		% —	% 18.2	% —
3 月 末	1,672	5.4	0	36.2	24.2	—
4 月 末	1,662	4.7	0	59.5	23.9	—
5 月 末	1,645	3.7	—	—	23.2	—
6 月 末	1,639	3.3	—	—	23.0	—
7 月 末	1,473	△ 7.2	—	—	14.6	—
8 月 末	1,483	△ 6.6	—	—	15.2	—
9 月 末	1,479	△ 6.8	—	—	15.2	—
10 月 末	1,496	△ 5.7	—	—	16.3	—
11 月 末	1,473	△ 7.2	—	—	16.7	—
12 月 末	1,353	△14.7	—	—	9.5	—
2023年 1 月 末	1,343	△15.4	—	—	9.0	—
2 月 末	1,345	△15.2	—	—	9.2	—
(期 末) 2023年 3 月15日	1,336	△15.8	—	—	8.8	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期の運用状況と今後の運用方針

前述の2～4ページをご覧ください。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年3月16日～2023年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 24	% 1.627	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(24)	(1.622)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.005)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	24	1.627	
期中の平均基準価額は、1,505円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2022年3月16日～2023年3月15日)

該当事項はございません。

○ 株式売買比率

(2022年3月16日～2023年3月15日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	－千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	75,386千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	－

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 単位未満は切捨て。

○ 利害関係人との取引状況等

(2022年3月16日～2023年3月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年3月15日現在)

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(米国)	百株	百株	千米ドル	千円	
PJSC GAZPROM(ADR)	3,502	3,502	—	—	エネルギー
X 5 RETAIL GROUP NV-REGS GDR	343	343	—	—	食品・生活必需品小売り
NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S	83	83	—	—	エネルギー
NLMK PJSC-GDR REG S	421	421	—	—	素材
ROSNEFT OIL COMPANY PJSC-GDR	2,502	2,502	—	—	エネルギー
SEVERSTAL PAO (GDR)	639	639	—	—	素材
YANDEX NV-A	296	296	—	—	ソフトウェア・サービス
TCS GROUP HOLDING -REG S	259	259	—	—	銀行
PJSC MMC NORILSK NICKEL-ADR	485	485	—	—	素材
TATNEFT PAO-SPONSORED ADR	144	144	—	—	エネルギー
LUKOIL PJSC	412	412	—	—	エネルギー
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	9,091 11	9,091 11	— <-%>	
(英国)			千英ポンド		
POLYMETAL INTERNATIONAL PLC	948	948	208	34,155	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	948 1	948 1	208 <8.8%>	
(ロシア)			千ルーブル		
SBERBANK OF RUSSIA PJSC	6,026	6,026	—	—	銀行
PHOSAGRO PJSC	124	124	—	—	素材
POLYUS PJSC	105	105	—	—	素材
TATNEFT PJSC	1,632	1,632	—	—	エネルギー
MAGNIT PJSC	262	262	—	—	食品・生活必需品小売り
GAZPROM NEFT PJSC	2,051	2,051	—	—	エネルギー
ROSNEFT OIL CO PJSC	296	296	—	—	エネルギー
SURGUTNEFTEGAS PJSC	4,330	4,330	—	—	エネルギー
SURGUTNEFTEGAS PJSC(PFD)	9,847	9,847	—	—	エネルギー
ALROSA PJSC	4,159	4,159	—	—	素材
MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS PJ	2,657	2,657	—	—	各種金融
SEGEZHA GROUP PJSC	73,085	73,085	—	—	素材
YANDEX NV-A	178	178	—	—	ソフトウェア・サービス
OZON HOLDINGS PLC - ADR	173	173	—	—	小売
UNITED CO RUSAL INTERNATIONAL	8,702	8,702	—	—	素材
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	113,632 15	113,632 15	— <-%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	123,672 27	123,672 27	— <8.8%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注) —印は組入れなし。

(注) 業種等は、世界産業分類基準 (G I C S[®]) に基づく業種名を採用しております。

○投資信託財産の構成

(2023年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 34,155	% 8.8
コール・ローン等、その他	355,022	91.2
投資信託財産総額	389,177	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 期末における外貨建純資産 (34,155千円) の投資信託財産総額 (389,177千円) に対する比率は8.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1英ポンド=163.67円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年3月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	389,177,813 円
コール・ローン等	355,022,274
株式(評価額)	34,155,539
(B) 負債	1,021
未払利息	1,021
(C) 純資産総額(A-B)	389,176,792
元本	2,912,833,706
次期繰越損益金	△2,523,656,914
(D) 受益権総口数	2,912,833,706口
1万口当たり基準価額(C/D)	1,336円

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

《注記事項》

※期首元本額	3,267,451,315円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	354,617,609円

※当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末保有元本額	
HSBC ロシア オープン	2,912,833,706円

○損益の状況 (2022年3月16日～2023年3月15日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 330,315 円
受取利息	3,300
その他収益金	18,980
支払利息	△ 352,595
(B) 有価証券売買損益	△ 65,830,877
売買益	20,320,266
売買損	△ 86,151,143
(C) 保管費用等	△ 7,163,793
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 73,324,985
(E) 前期繰越損益金	△2,748,895,814
(F) 解約差損益金	298,563,885
(G) 計(D+E+F)	△2,523,656,914
次期繰越損益金(G)	△2,523,656,914

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

- ・2022年6月1日付：
ベンチマークを削除する変更を行いました。

ロシア株式等（ロシア企業が発行する株式（ADR（米国預託証券）、GDR（グローバル預託証券）等を含みます）、以下同じ）の評価について

<財務諸表に計上した金額の算出方法及び財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定>

2022年2月24日（現地時間）以降、ロシアのウクライナ侵攻を受けた米欧の経済制裁やロシアによる対抗措置により、2022年2月28日（現地時間）にロシアの証券取引所は株式取引を停止し、米国市場等の海外市場においてもロシア株式等の流動性が極めて低く、取引することが困難な状態が続いております。また、取引の規制、決済機構やSWIFTからの除外による取引後の受渡が行えない状況となり、ロシア株式等の取引が困難な状態が継続しており、活発な市場における相場価格の取得ができない状況が続いております。よって、保有しているロシア株式等について、ゼロ円で評価しております。

<翌計算期間の財務諸表に与える影響>

当計算期間において、ロシア株式等を上記のように評価しております。しかしながら、ロシアの証券取引所の再開やロシア株式等の取引の再開等、今後の動向の変化によって翌計算期間の財務諸表に影響を与える可能性があります。